

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)ガバナリングボード構成員

【ガバナリングボード座長】



橋本 和仁

国立研究開発法人物質・材料研究機構理事
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

【構成員】



上山 隆大

元政策研究大学院大学教授・副学長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



梶原 ゆみ子

富士通株式会社 理事
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



小谷 元子

東北大学高等研究機構長
東北大学材料科学高等研究所教授
兼 大学院理学研究科数学専攻教授
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



小林 喜光

株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



篠原 弘道

日本電信電話株式会社(NTT)取締役会長
(一社)日本経済団体連合会副会長・
デジタルエコノミー推進委員会委員長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



松尾 清一

名古屋大学総長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



山極 壽一

日本学術会議会長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

SIP—これまでの経緯

2013年

- 8月 内閣府計上の調整費(科学技術イノベーション創造推進費*1)を概算要求
- 9月 国家的・経済的重要性等の観点から総合科学技術会議が10の課題候補を決定
助言・評価等を行うガバナリングボード(総合科学技術会議 有識者議員にて構成)を設置
- 10月 内閣府が各課題の政策参与*2を公募
- 12月 政策参与を決定。政策参与が中心となって研究開発計画を作成

2014年

- 2月 公開ワークショップ
- 3月 事前評価
- 4月 研究開発計画をパブリックコメント
- 5月 総合科学技術・イノベーション会議において、課題、プログラムディレクター(PD)、予算配分を決定
- 6月 PD 10名を任命、各省に予算移し替え、研究機関の公募開始
- 7月～ 公募締切、選定作業(書類・面接)
- 8月～ 採択課題、研究開発機関を決定し、研究開発体制を構築
- 10月～ 各課題の研究開発を本格化
- 12月 SIPシンポジウム2014開催

2015年

- 3月 平成26年度末評価
- 4月 平成27年度当初予算配分を決定
- 6月 「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」が総合科学技術・イノベーション会議にて新規課題候補として承認
PD候補(政策参与)の公募
- 8月 新規課題候補のPD候補(政策参与)の任命
- 10月 SIPシンポジウム2015開催

- 11月 「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」が総合科学技術・イノベーション会議にて新規課題として承認

2016年

- 1月 平成27年度末評価
- 3月 平成28年度当初予算配分を決定
- 10月 SIPシンポジウム2016開催

2017年

- 1月 平成28年度末評価、SIP制度中間評価
- 3月 平成29年度当初予算配分を決定
- 9月 SIPシンポジウム2017開催

2018年

- 1月 平成29年度末評価
- 3月 SIP第2期12課題の決定、PDの公募
平成30年度当初予算配分を決定
- 7月 SIP第2期12課題の研究開発計画案の承認
- 12月 平成30年度末評価(第1期)

2019年

- 1月 平成30年度末評価(第2期)
- 2月 SIP制度最終評価
2019年度当初予算配分を決定
SIPシンポジウム2018 開催
- 5-6月 臨時課題評価
- 9月～ SIPワークショップ2019 開催

*1 平成26年度政府予算案で、500億円を計上(このうち35%(175億円)を医療分野の研究開発関連の調整費として充当)

*2 内閣府非常勤職員。プログラム開始後はPD